

農業参入セミナー

企業の農業参入基礎

群馬県 農政部 農業構造政策課
経営基盤係 桑原 克也

今日、お話しすること

1. 農業を取り巻く情勢
2. 農地の確保に関する法令
3. 参入計画時に必要となる事項

1. 農業を取り巻く情勢

420倍

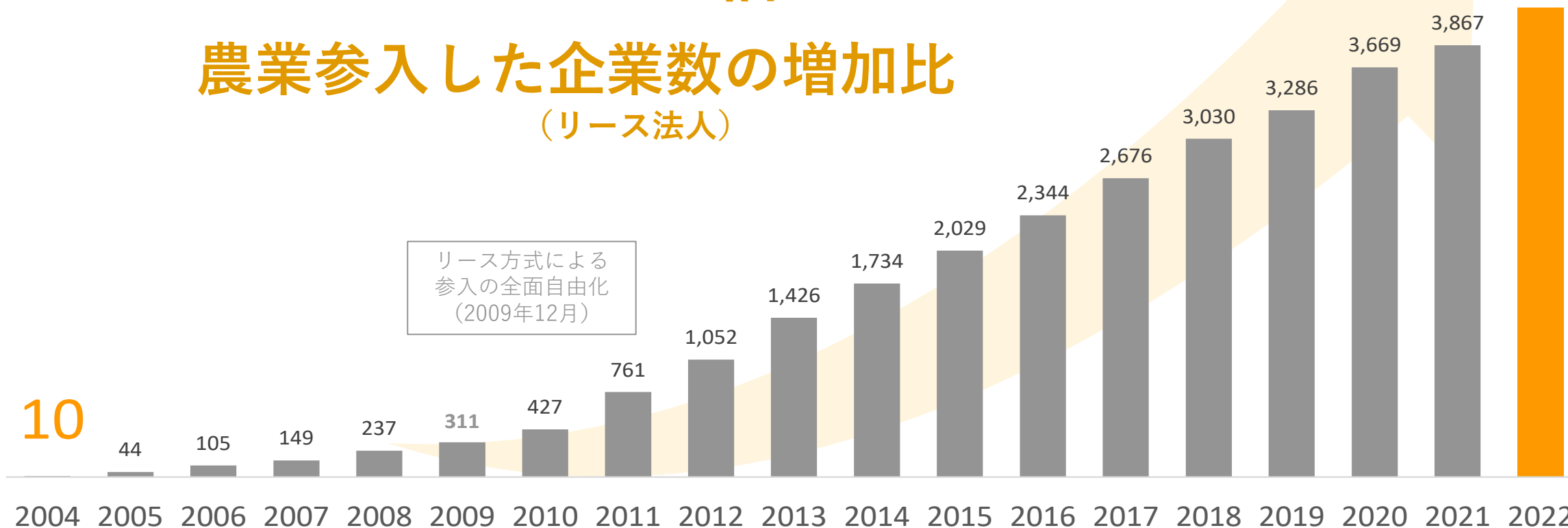
1. 農業を取り巻く情勢

(単位：法人)

420倍

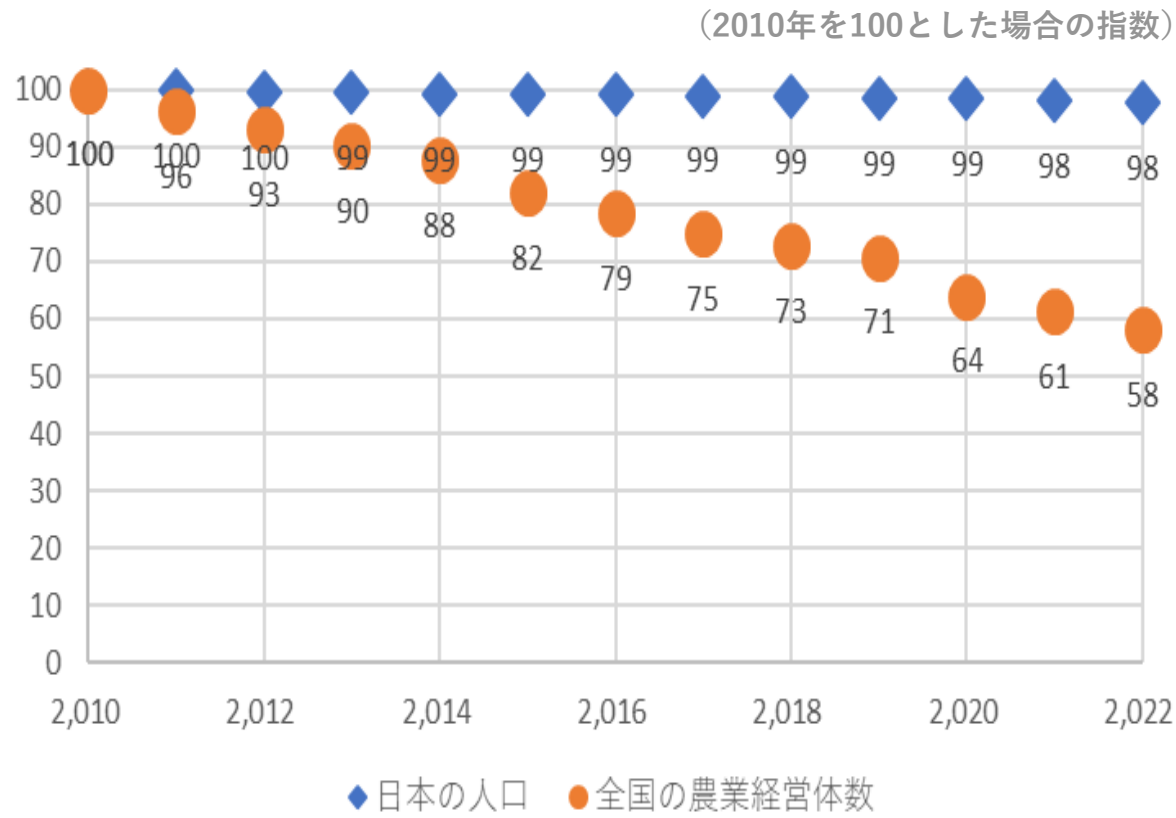
農業参入した企業数の増加比 (リース法人)

4,202



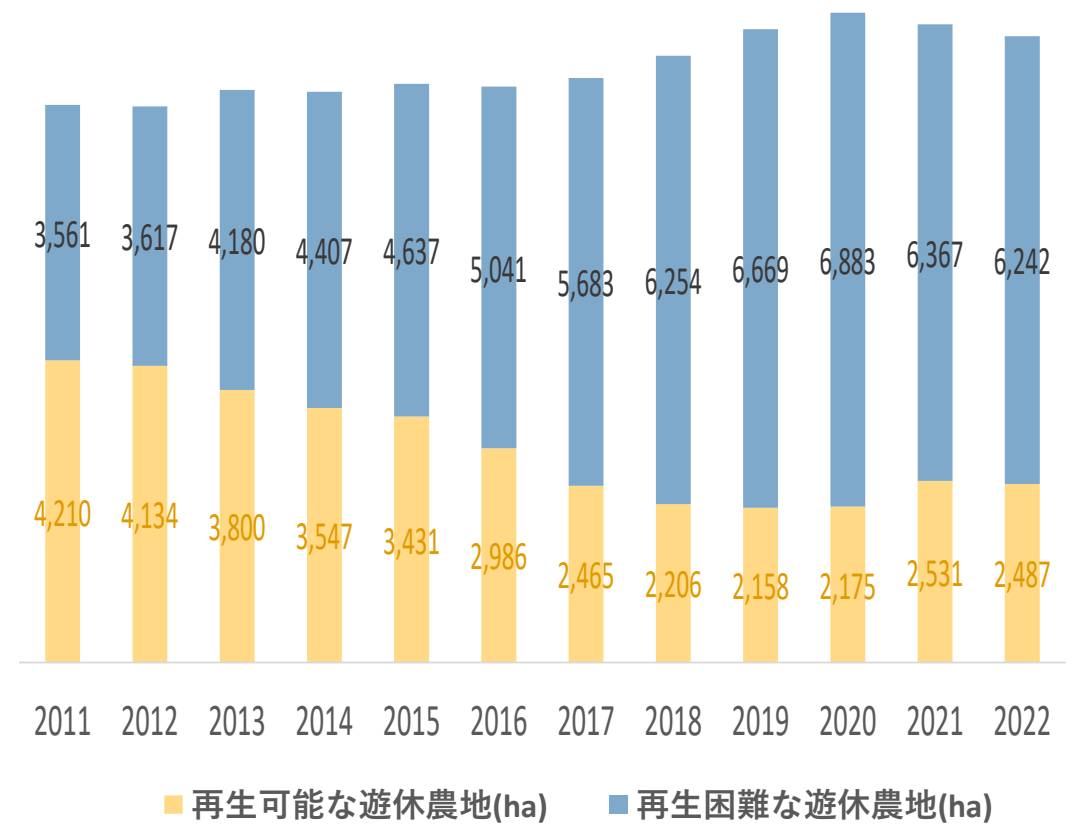
1. 農業を取り巻く情勢

日本の人口と農業経営体数（全国）の推移



(出典) 日本の人口：国勢調査（総務省）、人口動態調査（厚生労働省）
 農業経営体数（全国）：農林業センサス（農林水産省）、農業構造動態調査（農林水産省）

群馬県での遊休農地の推移



出典：群馬県農業構造政策課調べ

1. 農業を取り巻く情勢

農業の参入企業数 増加

農業経営体数 減少
遊休農地 微増

農業はビジネスチャンス?!

1. 農業を取り巻く情勢

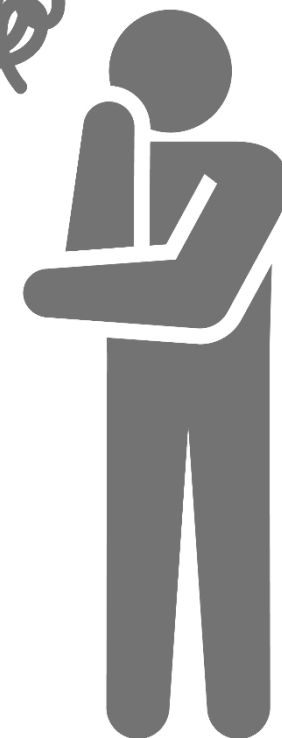
農業参入における**企業側**の主なメリット

1. 既存事業とのシナジーによる**新たな価値創出**
2. 雇用創出や農業振興などの**地域貢献**
3. **企業PR・ブランディング強化** etc.

2. 農地の確保に関する法令

企業の農業参入相談で一番多い相談は??

農地の確保



2. 農地の確保に関する法令

農地所有

農地賃借

農地所有適格法人

可能

可能

一般法人

(農地所有適格法人以外)

不可

可能

2. 農地の確保に関する法令

農地法

農地の権利移動や転用の制限、利用関係の調整、遊休農地に関する措置などを定めた法律

農業経営基盤 強化促進法

農業者に対する農用地の利用集積、経営管理の合理化、その他の農業経営基盤の強化を促進するために整備された法律

2. 農地の確保に関する法令

農地の借入れ方法が変わる！

以前

- 「農地法3条」による方法
- 「農業経営基盤促進法」による方法
- 「農地中間管理事業」による方法



令和5年4月～

- 「農地法3条」による方法
- 「農地中間管理事業」による方法

統合

※ 2年間は移行期間あり



市町村が作成する「地域計画」
に位置づけられることが原則！

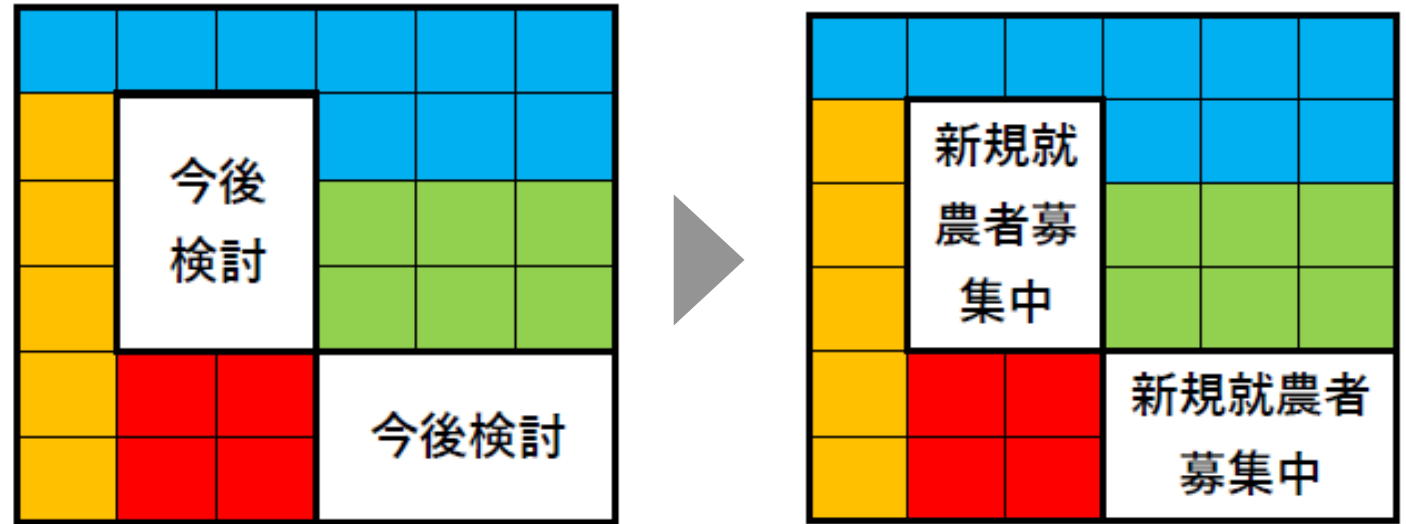
2. 農地の確保に関する法令

地域の担い手募集情報を素早くキャッチ！

(目標地図イメージ)

「地域計画」
(目標地図)

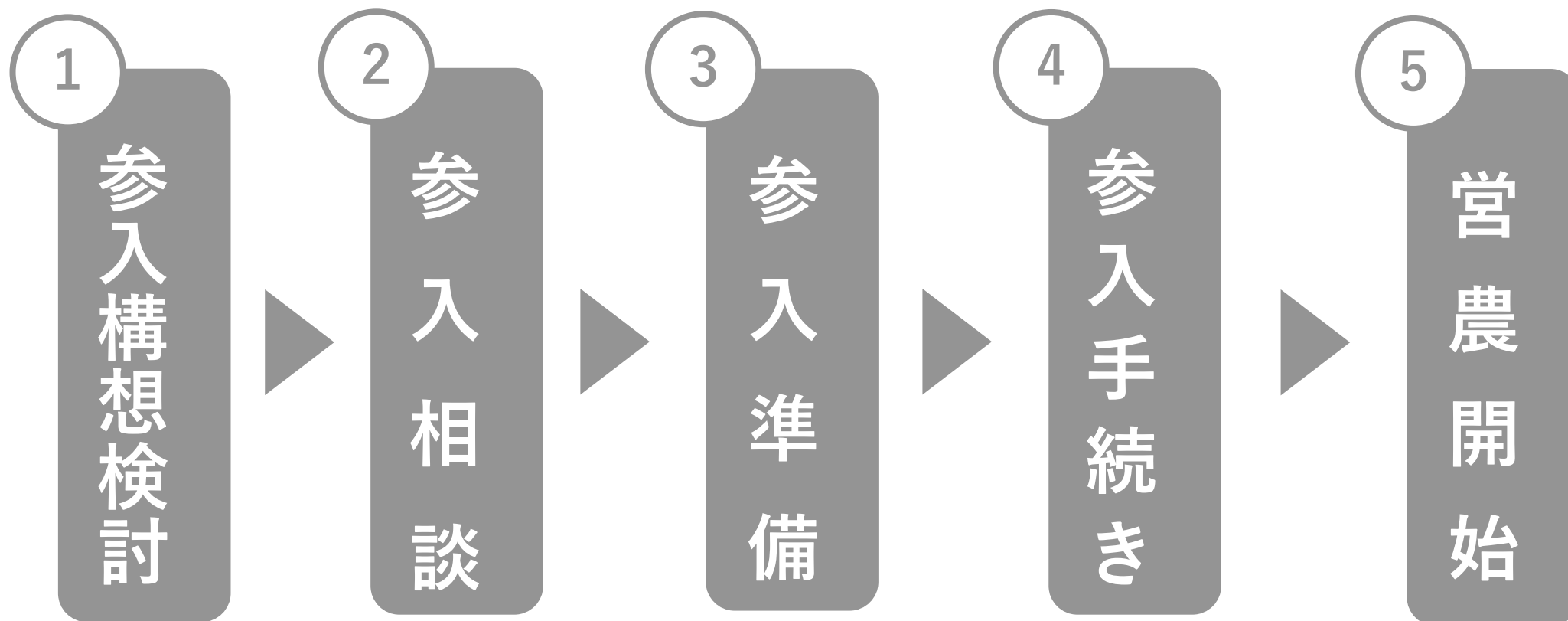
10年後の1筆ごとの
農地の耕作者を示した地図



担い手が不足する地域では、
地域外から担い手募集の情報発信

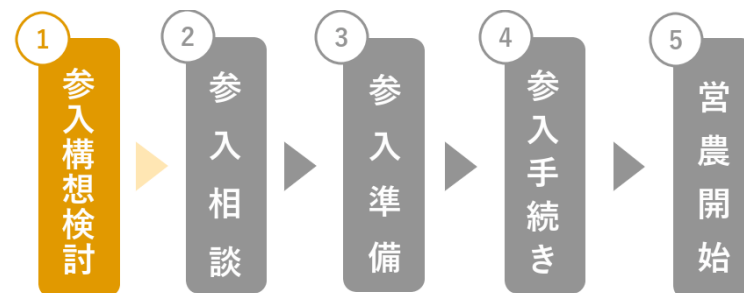
3. 参入計画時に必要となる事項

企業の農業参入の流れ



3. 参入計画時に必要となる事項

① 参入構想検討



◎ 「参入目的」を明確に！

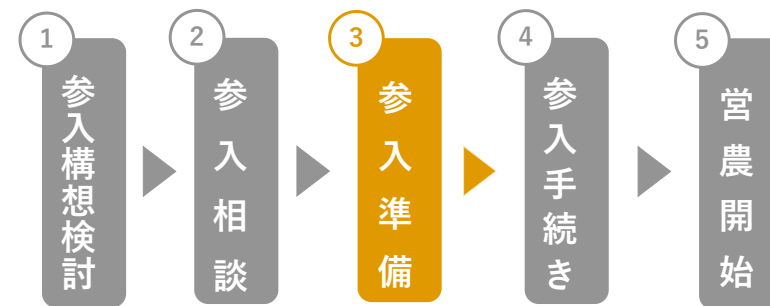
◎ 「参入形態」について検討しよう！

- 農地所有適格法人 or 一般法人

◎ 作付作物、販売先、参入地域等を検討しよう！

3. 参入計画時に必要となる事項

③ 参入準備



◎ 「事業計画」の策定

- ◆ 栽培品目・面積規模、販売先・販売単価、労働力、機械・施設、農地の借入方法、資金調達方法 など

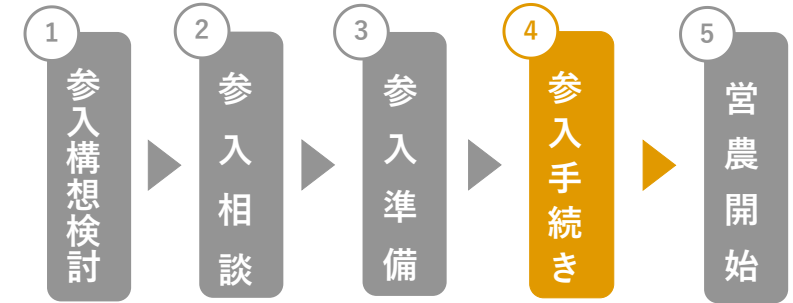
◎ 「現地」との調整

- ◆ 地域住民や地権者等への説明・理解促進

◎ 「栽培技術」の習得

3. 参入計画時に必要となる事項

④ 参入手続き



◎ 「農地」 の借り入れ

- 農地法による方法 or 農地中間管理事業による方法

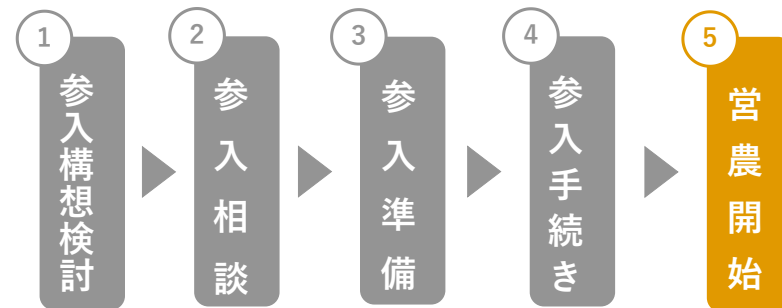
◎ 「施設・機械」 の整備・導入

- ◆ 整備・導入に係る資金計画の検討も！

経営規模を考慮

3. 参入計画時に必要となる事項

⑤ 営農開始



◎ 関連法令を遵守、地域との調和を維持しつつ

「**営農**」に取り組んでください！

まとめ

1. 農業を取り巻く情勢
2. 農地の確保に関する法令
3. 参入計画時に必要となる事項